

■節電行動計画

(平成30年7月～9月)

施設名称	三浦市環境センター	施設管理者	環境センター所長
	節電管理者	所長 蛭田 一成	節電副管理者
	節電管理者		後藤 史義
	節電管理者		川瀬 一正
	節電管理者		節電副管理者

節電目標	平成22年度同月の電力使用量比で△ 10.0%	節電実績	
------	-------------------------	------	--

環境センター節電対策

建物全体に対する節電効果

環境センターの電気使用量は、ごみ処理工場棟における電気使用量が大部分を占めています。また、この電気使用量は、工場棟内で使用しているごみクレーン等の機器類及び容器包装プラ、ペットボトルの選別・圧縮施設等の稼働状況に比例します。このような中で、次のような節電メニューに取組み環境センター全体の電気使用量の削減に努めます。

チェック			10%
ごみクレーンの効率的な運転方法の見直し	レ	ごみクレーンの効率的な運転方法を行い稼働時間の削減を図る。	
照明	レ	水銀灯（外灯）の使用時間の短縮。	

管理棟における以下の節電対策も実施します。

チェック		
照明機器	レ	自然光で照度が賄える部分は原則消灯します。
	レ	共用部分の照明は安全対策を講じた上で間引き及び消灯します。
	レ	昼休み時間は一斉消灯します。（窓口業務を除く）
	レ	就業時間後は一斉消灯します。（特定日のみ）
	レ	トイレ室内は原則使用時だけ点灯します。
空調等動力機器	レ	残業時には、業務場所を集約し必要な照明を減らす工夫をします。
	レ	フィルター掃除は2週間に1度実施します。
	レ	機器運転中は、扇風機などの補助機器により対流を図り、効率化を図ります。
O A 機器	レ	室内温度は28℃にし、運転時間は13時から17時までとします。
	レ	スクリーンセーバーや壁紙は禁止します。
	レ	2時間以上の離席時には、PCを「シャットダウン」します。
	レ	2時間以内の離席時には、PCを「スタンバイ」にします。
	レ	退庁時には電源アダプターのコンセントを抜きます。
	レ	待機電力が発生する周辺機器は使用時以外、電源オフにします。
	レ	庁舎内で見直しを行い、同一機器の使用台数を削減します。
	レ	夜間・休日などは電源オフを実施します。
	レ	印刷出力時は、縮小・複合・両面等で印刷枚数（稼働時間）を削減します。
	レ	ファックス受信は、電子メールを活用したメール受信に極力移行を依頼し、印刷出力を削減します。
その他機器	レ	冷蔵庫は、庁舎内で合同使用とし、使用台数を削減します。
	レ	冷蔵庫の庫内温度を適切に設定（強→中）し、効率的に使用します。
	レ	庫内清掃、整理を行い、冷気循環を考慮した整頓をします。
	レ	冷蔵庫の無駄な開閉をやめます。
	レ	電気ポットは沸騰後、保温ポットに移し、使用後はコンセントから電源プラグを抜きます。

ワークスタイルによる節電対策も実施します。

チェック		
職員行動	レ	庁内の会議時間は原則1時間以内に努めます。
	レ	クールビズによる取組みを徹底します。
	レ	定時退庁日の実行徹底と、時間外勤務による電力消費を抑制します。
	レ	課単位でのチームとして業務効率を向上させ、全員定時退庁を目指します。
	レ	業務効率を維持しながら、年次休暇の計画的取得による電力消費を抑制します。

持続可能な節電行動を継続するなかで、快適な執務環境を維持しながら、より効率的な節電を目指します。